

地域ブロンズ会議から生まれた支え合い活動

各地域のブロンズ会議において、高齢者の「生活支援」と「介護予防」をテーマに課題や支援方法等が話し合われており、様々なサービスや支え合いの活動につながっている。

1 生活支援

(1) 移動スーパーの実施

ブロンズ会議等で販売場所を選定し、民間事業者の移動販売による買い物支援で、自宅近くで買い物ができるようになった。また、高齢者の見守り、集いの場を創出することができた。

(2) デマンド型タクシーの利用登録会の開催

コミュニティセンターで利用登録会を開催し、高齢者の通院や買い物のための移動手段を確保することができた。

(3) 「おたすけサポーター」の増員

地区内で「ちょこっとおたすけ絆サポート事業」の「おたすけサポーター」の登録を促進することで、経験豊かな高齢者の活躍の場を提供するとともに、高齢者の生活を支える地域住民を増やすことができた。

(4) 安心シートの作成・発行

高齢者等に「安心シート」を配布し、緊急連絡先や避難場所等を民生委員等と一緒に書き込み、高齢者宅に掲示することで、地域における緊急時の見守り体制を構築することができた。

(5) マイナンバーカードの出張申請サポートを実施

マイナンバーカードの出張申請サポートを実施し、申請手続きに困難を感じていた高齢者等を支援することができた。

(6) 新型コロナワクチン接種の予約支援を実施

地域住民等がスマホやタブレットを使用し、予約手続きに困難を感じていた高齢者のワクチン接種の予約手続きを支援することができた。



▲移動スーパーの様子（中柏戸集会所）

2 介護予防

(1) 認知症に関する取組みの実施

認知症サポーター養成講座の開催とチームオレンジの活動を推進し、認知症への理解と見守る環境づくりを進めることができた。

(2) 交流の場の開催

公園等でラジオ体操や加須転倒無止体操等を定期的の実施することで、高齢者の閉じこもりの防止とつながりを創出することができた。